

【9/28/（火）日韓共同世論調査記者会見／10/2（土）第9回日韓未来対話のご案内】

**言論NPOと東アジア研究院（EAI）は
「第9回日韓共同世論調査」結果の公表と（9/28）
「第9回日韓未来対話」と「日韓若者対話」を開催します（10/2）**

非営利シンクタンク言論NPO（東京都中央区、代表：工藤泰志）と、韓国のシンクタンクである東アジア研究院（EAI）、崔鍾賢学術院は、9月28日（火）15時からハイブリッド方式にて記者会見を行い、今年で9回目となる日韓共同世論調査結果を公表します。

この調査は、2013年から日韓両国民の相互認識の現状、相手国や日韓関係に関する世論の動向、東アジアの地域情勢や経済等の共通課題に関する認識について継続して行っているもので、今年で9回目の調査となります。

併せて、10月2日（土）午前9時から「第9回日韓未来対話」をオンライン会議方式で開催いたします。米中対立が深刻化し、徴用工問題が解決に至らないなか、事実上、日韓の政府間関係は停止した状態が続き、未来を見通せない状況が続いています。

そうした中、今年の「日韓未来対話」では、「米中対立下の世界での日韓関係の意味を考える」をメインテーマに、「日韓関係の改善をどう進めるのか」、「中国の強硬姿勢に日韓はどう対応するのか」、「民主主義は日韓共通の基盤になりえるか」について議論する予定です。

また、同日15時30分から、日韓両国の若者が参加する「日韓若者対話」も開催いたします。

ご多用中とは存じますが、本記者会見および日韓未来対話にご参加賜りますようお願い申し上げます

「第9回日韓共同世論調査結果」記者会見 開催概要

- 日時： 2021年9月28日（火）15時00分～16時00分（日本時間）
※調査結果について、テレビ・ラジオ、ウェブについては9月28日16時以降、新聞については翌日29日の朝刊からの情報解禁でお願いいたします
- 会場： 日本財団ビル2階大会議室（東京都港区赤坂1丁目2-2）
韓国側からは東アジア研究院院長の孫渕氏がインターネットにて参加
※お申込いただいた記者の皆様は、現地でご参加いただくか、配信URLを送付いたします
- 内容： 「第9回日韓共同世論調査」結果発表
および「第9回日韓未来対話」開催概要について
- 参加者： 工藤 泰志（言論NPO代表）
孫 渕（東アジア研究院院長）
- 言語： 日本語／韓国語（同時通訳）

※9月30日17時から、今回の世論調査結果をどう読み解けばいいのか、学習院大学の磯崎典世教授、京都大学の小倉紀蔵教授、慶應大学の西野純也教授が集まり議論します。ぜひご参加ください。お申し込みは言論NPOのホームページをご覧ください。

「第9回日韓未来対話」「日韓若者対話」開催概要

- 日時： 2021年10月2日（土）9時00分～15時20分 第9回日韓未来対話
15時30分～17時30分 日韓若者対話
- 会場： 東京会場とソウル会場より、それぞれのパネリストが参加し、
ウェブ会議方式にて開催します
※東京会場は国際文化会館・講堂でご取材いただけます
- テーマ： 米中対立下の世界での日韓関係の意味を考える
- 参加者： 日韓併せて約30氏の識者が参加します
※記者の皆様は国際文化会館でご取材いただくか、配信URLを送付いたします

本件に関するお問い合わせ：言論NPO事務局 宮浦・西村

TEL：03-3527-3972 FAX：03-6810-8729 MAIL：info@genron-npo.net

■ 「第9回日韓未来対話」について

日本と韓国は台頭する中国と、同盟国である米国に挟まれ、政治的・地理的な環境を共有しております、さらに、米中対立の激化、北朝鮮の核・ミサイル問題など、この北東アジア地域には、日韓両国が協力しなければならない課題が多く存在します。

しかし、日韓二国間関係は、韓国最高裁による元徴用工判決を皮切りに関係が再度悪化し、日本政府の輸出規制強化や、韓国政府による GSOMIA 破棄通告などを経て、日韓関係は極めて深刻な状況にあります。言論 NPO の世論調査でも明らかになったように、政府間関係の悪化は、両国の国民層の意識にも影響が波及しています。

本年は、日韓間関係のみならず、二国間を越えた共通のグローバルな課題への協力について広く議論を行います。また昨年好評であった 35 歳以下のパネリストリストが参加する「日韓若者対話」も実施します。日韓関係の未来への糸口を探るための議論を、日韓間で唯一、多くの市民に支えられている「日韓未来対話」が挑みます。

【第9回日韓未来対話】開催概要（予定）

- 日時： 2021 年 10 月 2 日（土） 9 時 00 分～ 15 時 20 分
- 会場： 日本側と韓国側が参加し、ウェブ会議方式にて開催します
※記者の皆様は、国際文化会館・講堂で直接ご取材いただくか、
zoom でのご取材かをご選択ください
- 内容：

9:00～9:20	開幕式／主催者挨拶・政府挨拶・祝辞
9:20～10:50	セッション 1 「日韓関係の改善をどう進めるのか」
11:00～12:30	セッション 2 「中国の強硬姿勢に日韓はどう対応するのか」
13:30～15:00	セッション 3 「民主主義は日韓共通の基盤になりえるか」
15:00～15:20	閉幕式

【日韓若者対話】開催概要（予定）

- 日時： 2021 年 10 月 2 日（土） 15 時 30 分～ 17 時 30 分
- 会場： 日本側と韓国側が参加し、ウェブ会議方式にて開催します
※記者の皆様は、国際文化会館・講堂で直接ご取材いただくか、
zoom でのご取材かをご選択ください
- 内容：
 - ①若者は日韓関係をどう見ているのか
 - ②日韓は、世界の課題にどう協力すべきか

セッション 1 : 日韓関係の改善をどう進めるのか

◆日本側パネリスト

西野純也（慶應義塾大学法学部教授）
奥薗秀樹（静岡県立大学大学院国際関係学研究科教授、
現代韓国朝鮮研究センター長）
塚本壮一（桜美林大学教授、元 NHK ソウル支局長）
権容奭（一橋大学法学研究科准教授）

◆韓国側パネリスト

朴仁國（崔鍾賢學術院院長、元国連大）
孫渓（東アジア研究院（EAI）院長）
金玄基（中央日報編集局長）
申玆秀（元駐日大使）
カン・テウン（光云大学校教授） ※調整中

セッション 2 : 中国の強硬姿勢に日韓はどう対応するのか

◆日本側パネリスト

田中均（日本総合研究所国際戦略研究所理事長）
小此木政夫（慶應義塾大学名誉教授）
小倉和夫（国際交流基金顧問）
古城佳子（青山学院大学国際政治経済学部教授）
川口順子（武藏野大学国際総合研究所フェロー、元外相）

◆韓国側パネリスト

全在晟（EAI 国家安全保障研究センター所長、
ソウル大学政治外交学部教授）
河英善（東アジア研究院理事長、ソウル大学名誉教授）
ジョ・ヤンヒョン（国立外交学院教授）
チエ・スファン（毎日経済新聞政治部長） ※調整中

セッション 3 : 民主主義は日韓共通の基盤になりえるか

◆日本側パネリスト

伊藤亜人（東京大学大学院総合文化研究科名誉教授）
磯崎典世（学習院大学法学部教授）
杉山晋輔（前駐米大使）
松川るい（防衛大臣政務官、参議院議員） ※予定
工藤泰志（言論 NPO 代表）

◆韓国側パネリスト

李淑鍾（EAI 院長）
吳俊（元国連大使）
金世淵（国会議員（自由韓国党））
キム・ホンジュン（高麗大学教授）

本件に関するお問い合わせ：言論 NPO 事務局 宮浦・西村

TEL : 03-3527-3972 FAX : 03-6810-8729 MAIL : info@genron-npo.net

【日韓未来対話とは】

「日韓未来対話」は、言論NPO東アジア研究院（EAI）が、2013年5月に共同で創設した日韓間で唯一の課題解決型・公開型の民間対話です。日韓には、基礎的な相互理解不足によって、国民間に強い相互不信やナショナリズムの感情的な高まりが存在し、それが日韓関係の発展を停滞させています。この状況を対話の力で乗り越えようと考え、世論調査で国民の認識の動向を絶えず把握しながら可能な限りオープンに議論するという、新しい対話を日韓の間で立ち上げ、両国の未来に向けた議論を開始しました。

【言論NPOとは】

言論NPOは、「健全な社会には、当事者意識を持った議論や、未来に向かう真剣な議論の舞台が必要」との思いから、2001年に設立された、独立、中立、非営利のネットワーク型シンクタンクです。2005年に発足した「東京－北京フォーラム」は、日中間で唯一のハイレベル民間対話のプラットフォームとして15年間継続しています。また、2012年には、米国外交問題評議会が設立した世界25カ国のシンクタンク会議に日本から選出され、グローバルイシューに対する日本の意見を発信しています。この他、国内では毎年政権の実績評価の実施や選挙時の主要政党の公約評価、日本やアジアの民主主義のあり方を考える議論や、北東アジアの平和構築に向けた民間対話などに取り組んでいます。

また、2017年には世界10カ国のシンクタンクを東京に集め、東京を舞台に世界の課題に関する議論を行う「東京会議」を立ち上げ、会議での議論の内容をG7議長国と日本政府に提案する仕組みをつくり出しました。

さらに、米中対立下で、米国と中国が出席する4カ国の「アジア平和会議」を2020年1月に創設し、歴史的な作業に着手しています。

【東アジア研究院（EAI, East Asia Institute）とは】

東アジア研究院は、地域が抱える問題について政策提言を行うことを目的に、独立シンクタンクとして創設しました。研究者セミナー、フォーラム、教育プログラム、そして多様な出版物を通じて影響力のある成果を生み出しています。東アジア研究院の調査活動は、外交安全保障プログラム、ガバナンス研究プログラムの二本柱から成り、これらのプログラムが5つの研究センターによって行われています。また、研究タスクフォースを用いて、喫緊した重要な問題にも取り組んでいます。卓越した研究者と政策立案者が協働し、東アジア研究院は革新的で政策論議を反映した研究成果を想像する中心に立っています。韓国で卓越した研究所の一つとして、米国、中国、台湾、その他多くの国々との共同研究を通じ、北東アジアにおける知識ネットワークを創造しています。

【崔鍾賢学術院とは】

崔鍾賢(チェ・ジョンヒョン)学術院(Chey Institute for Advanced Studies:CIAS)は韓国高等教育財団の設立者である崔鍾賢(チェ・ジョンヒョン)SKグループ会長20周年を迎えて「学問を通じた世界一流国家、大韓民国」を夢見た故人の遺志を継承・発展するという趣旨で設立された非営利公益財団です。

崔鍾賢(チェ・ジョンヒョン)学術院は世界20カ国あまりとの学術協力ネットワークを活用し、グローバル戦略や科学技術革新についての融合・複合的な研究を行い、国際フォーラムや海外学者支援などの国際学術交流事業を遂行しています。

【締め切り】記者会見：9月27日(月)まで　日韓未来対話・日韓若者対話：9月30日(木)まで

ご返信先 FAX 番号：03-6810-8729

「第9回日韓共同世論調査」結果を公表すると同時に(9/28)
「第9回日韓未来対話」「日韓若者対話」を開催いたします(10/2)
お申込みフォーム

下記の必要事項をご記入後 FAX(03-6810-8729) いただくか、または同様の事項をメール(info@genron-npo.net)にご記入の上ご出欠のお返事をお送り下さいますようお願い致します。(担当:宮浦)

9月28日 (火) 15:00～16:00	「第9回日韓共同世論調査」記者会見 於：日本財団ビル2階大会議室（東京都港区赤坂1-2-2） ※現地でご取材いただくか、 Web 視聴をご希望の場合は、URL を送付いたします ※EAIの孫渕氏はインターネットで参加します	<input type="checkbox"/> 現地ご出席 <input type="checkbox"/> Web 視聴 <input type="checkbox"/> ご欠席
10月2日 (土) 9:00～17:30	「第8回日韓未来対話」・ 「日韓若者対話」 於：国際文化会館・講堂（東京都港区六本木5-11-16） ※現地でご取材いただくか、 Web 視聴をご希望の場合は、URL を送付いたします	<input type="checkbox"/> 現地ご出席 <input type="checkbox"/> Web 視聴 <input type="checkbox"/> ご欠席

【ご氏名(カナ)】()

【貴社名】()

【ご部署(媒体名)/役職名】()

【ご連絡先】ご勤務先・ご自宅 ※どちらかに○をつけてください

【郵便番号】(〒)

【ご住所】()

【お電話番号】()

※【当日の緊急連絡先(携帯電話)】()

【ファックス】()

【E-mail】()

【同行者】()名 ※カメラマン、音声マンなど

【テレビカメラ】()台

本件に関するお問い合わせ：言論NPO事務局 宮浦・西村

TEL: 03-3527-3972 FAX: 03-6810-8729 MAIL: info@genron-npo.net